


SAINT-GOBAIN
GRAINS & POWDERS

MATERIAL SAFETY DATA SHEET

製造者情報

会社名 : Saint-Gobain Ceramic & Plastic Inc.
 住所 : 4905 East Hunter Ave.
 Anaheim, CA92807, USA
 緊急連絡先 : Infotrac Inc.
 Tel. No.: (800) 535-5053

輸入販売元

会社名 : サンゴバン 株式会社CM事業部
 住所 : 大阪府大阪市住之江区南港中6丁目4番61号
 緊急連絡先 : サンゴバン 株式会社CM事業部
 TEL : 06-6569-3511
 FAX : 06-6569-3515

作成日 : 2007年11月3日

改定日 : 2011年04月01日

NFPAによる本製品の危険度評価 : 火災危険 : 1 健康危険 : 1 反応危険 : 0 有害危険 : 1

1. 製品名 アンプレックスOSコンパウンド
 物質の特定 研磨用ダイヤモンドペースト

2. 化学組成

成分名	含有量	CAS No.	PEL (mg/m ³)	TLV (mg/m ³)
ポリアルキレン・グリコール	40~60%		なし	なし
アジピン酸	10~25%		なし	なし
シリカ	2~20%	7631-86-9	6	10
トール油脂脂肪酸エトキシレート	2~20%		なし	なし
ダイヤモンド	1~20%	7782-40-3	10	10

アメリカ合衆国環境保護庁 (Environmental Protection Agency) section313, SARA40, CFR part372 に基づきます。
 通常の使用条件では全ての組成成分は有害ではありません。
 引火性液体を含みます。

3. 危険有害性の要約

GHS分類 : 皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2A
 急性毒性 : 吸入 : 区分5
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分3 (気道刺激性)
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分1 (自律神経系)
 水生毒性 (急性) : 区分3

GHSラベル要素 :



危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激
 強い眼刺激
 吸入すると有害のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ
 長期又は反復暴露による臓器の障害(自律神経系)

注意書き：

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い場合：医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

[保管]

容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

[廃棄]

内容物/容器を適切な焼却炉で焼却するか都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

目に入った場合：痛みを生じる場合あり

皮膚への接触：繰り返し、長期の接触で痛み発生の場合あり

吸入：蒸気、ミスト吸入で鼻、のどの痛み発生の場合あり

長期にわたる吸入：めまい発生の可能性あり

摂取ルート：高温度での吸入、目、皮膚への接触

注意する器官：高温度での気管、目、皮膚

長期暴露での影響：目、皮膚問題、肝臓、腎臓等の既往症への化学物質の影響の可能性あり

4. 応急処置

目に入った場合：直ちに15分以上洗眼し医師の手当てを受ける

皮膚に付着した場合：直ちに付着した衣服、靴を取り石鹸水で洗浄する。医師の診断を受ける

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し医師の診断を受ける。症状に応じて人工呼吸器、酸素吸入を行う

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断を受ける。医師の指示のもとで、吐かせる。大量の水、牛乳を飲む。

5. 火災・爆発時の措置

引火点：200℃（概算） 消防法危険物第四類第三石油類

引火限界：LEL/UEL 情報なし

爆発性：情報なし

消火剤：泡消火器、CO₂または粉末消火剤

消火方法：吸気装置付完全防備衣服を着用する。下水等への流出を防ぐ

6. 漏出時の措置

少量の場合：隔離・立ち入り禁止とし換気を行う。ヒル石などの無機吸着材を使用し、ふき取る。

大量の場合：隔離・立ち入り禁止とし、換気を行う。管理者の判断を得る。除去作業の際は、防備衣服を
着用する。回収し国や当該地方自治体の法律・条例に基づいて焼却処理する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

通常の保管および取り扱い：通常の工業用潤滑剤と同様の取り扱いをする。喫煙の場合は手を洗う。

通常の工業用潤滑剤アレルギーにも注意する。

換気の良い場所に保管し、容器に表示をする。
火気、高温を避け、保管容器の破損に注意する。

8. 暴露防止措置

目の保護：保護用ゴーグルを着用する。[OSHA（米国安全衛生局）29CFR 1910.133参照]
保護具：皮膚への接触を避ける。化学品用手袋を着用する。必要に応じて保護マスク等を着用する。
[OSHA（米国安全衛生局）29CFR 1910.134参照]
換気装置：局所排気により換気を十分に行う
排気装置（全体）：推奨
その他設備：洗眼器、緊急用シャワーを作業場に設置する

9. 物理・化学的性質

外観・臭い：染料による着色あり。臭いあり。
蒸気圧：データなし
比重：1.05-1.2
pH：9-10
溶解度：水に不溶。有機溶剤に可溶。
沸点：130℃以上
融点：マイナス10℃以下
揮発分：40-70%

10. 安定性・反応性

安定性：室温での密閉容器使用では安定
重合性：有害な重合物を生成しない
反応性：強酸化剤、塩素等と反応。強酸、強アルカリ、熱源を避ける。
分解生成物：燃焼中に蒸気、二酸化炭素、一酸化炭素、その他不特定の有機化合物を発生

11. 有害性情報

刺激性：（目、皮膚）あり
皮膚腐食性：ほとんどなし
生殖器毒性：知見なし
摂取毒性：知見なし
亜急性毒性：吸入による頭痛、吐き気、鼻・のどへの刺激
癌原性：知見なし
変異原性：知見なし

12. 環境影響情報

分解性：生分解性あり。
蓄積性：知見なし
魚毒性：知見なし
その他：土壌への飛散禁止

13. 廃棄上の注意

許可のある廃棄業者に依頼し、国や当該地方自治体の法律・条例に基づいて焼却処理する。
容器は適切な溶剤・水で洗浄し、廃棄、再利用する。

14. 運送上の注意

国連規制の分類基準に該当しない。
容器の破損、密閉を確認し、固定した状態で運送し、消防法危険物第四類第三石油類の取り扱いをする。
米国DOT, ICAO, IATAでは非危険物に該当。

15 適用法令

消防法：第四類第三石油類

労働安全衛生法：通知対象物に該当しない

毒物及び劇物取締法：毒物・劇物に該当しない

化学物質管理促進法（PRTR法）：特定物質に該当しない

全ての組成成分はTSCAにリストされています。米国での法規制につきましては英語版原本を参照ください。

16 注意事項

記載内容の内、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。

危険、有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

製品安全データシートは、安全な取り扱いをするための参考情報として、取り扱う事業者提供される文書です。取り扱う事業者は、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。従って本データシートは、安全の保証書ではありません。

本データシートは英語版MSDS原本の日本語訳です。各項目のデータ、記載内容の取り扱いに関しては、英語版原本に基づきます。

以上

1. 危険有害性の要約

GHS分類： 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分1（肺；吸入）

GHSラベル要素： 危険

危険有害性情報： 呼吸器への刺激のおそれ
による臓器の障害（肺；吸入） 長期又は反復暴露

注意書き： [安全対策] この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

[応急措置] 気分が悪い場合：
医師の診断/手当てを受けること。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

[保管] 施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良いところで 保管すること。

[廃棄]

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。